



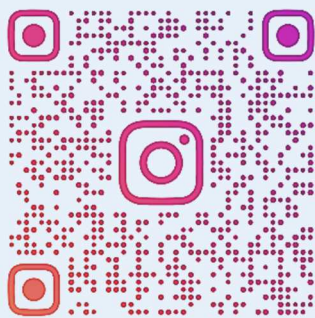
# JTCかわら版

VOL. 223 令和5年8月号

## 目次

- ・「世に生を得るは 事を為すにあり」 社内全体会議での 北野の訓話より
- ・ JTC News 北野会計事務所の インボイス対応
- ・ 職場環境への取り組み ~北野会計事務所~
- ・ TAX News -納付書の事前送付の取りやめ-
- ・ 北野会計事務所について

北野会計事務所アカウント フォローをお願いします。



KITANOACC7277



## 「世に生を得るは事を為すにあり」

北野 座右の銘

近畿税理士会が2つの事を重点的に進めようとしています。

1つは、女性活躍の場を増やすことです。理事・常務理事の女性割合を2割にして女性活躍の場を増やす方向性を打ち出しています。

そこで弊所の男女割合を比較すると、女性が7割と多く、幹部にも女性がいます。これからも、女性が働きやすい環境や積極的な体制づくり（テレワーク等の推進）をして、税理士会の中でも先頭を走れるようにと考えています。

もう1つは、会計事務所のDX化（Digital Transformation）です。会計事務所はもちろんですが、顧問先のDX化も話に上がっています。実現できなければ、税理士の特権である無償独占業務（税務調査・確定申告・税務相談等）が廃止されるのではないかとされています。

アメリカは税理士制度がないので確定申告は会計士のほか、カード会社などが請け負っています。日本も無償独占が廃止されると民間企業が参入して確定申告を行うこととなり、我々の業務が大幅に減ることになります。それを守るためにも、DXを推進しなければなりません。

先日、イーストクラブ（東支部の試験合格者の会）で、IT業務の取り組みで10年先をいくと言われる税理士法人に見学へ行きました。そこでの作業効率化で活用されているのが、担当制の廃止、一人5台のディスプレイ、DocuWorks、AP-CADの活用でした。徹底した無駄のない合理化・従業員の働きやすさを重視されており、「ITの技術と人間のつながりを両立させる仕組みが構築されている」と感じたようです。先をいく情報を得ることは、とても重要なことだと思います。

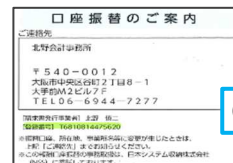
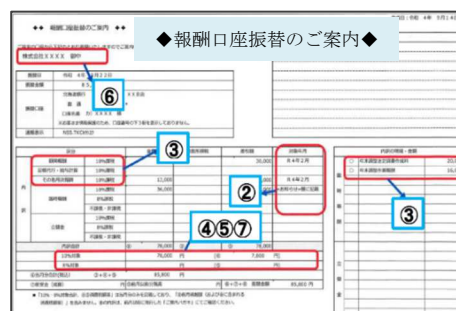
弊所も、ほとんど紙媒体を使用していません。社内会議はiPadを導入し、活用しています。納品物もクラウドへ保存しお客様と共有しており、チャットワークでテレビ会議をして、データを見ながらお客様に説明をしているところもあります。これからも弊所はDX化に積極的に取り組んでいきたいと思えます。

北野慎二

## JTC News

### 北野会計事務所のインボイス対応

請求書明細がインボイス対応になっています。「報酬口座振替のご案内」のハガキに、「適格請求書発行事業者名及び事業者登録番号」が記載されていますのでご確認をお願いいたします。



①	適格請求書発行事業者名及び事業者登録番号 (ハガキの宛名面に掲載)
②	取引年月日
③	取引内容
④	税率ごとに区分して合計した対価の額及び適用税率
⑤	税率ごとに区分した消費税額等
⑥	書類の交付を受ける事業者名
⑦	適正な消費税額算出方法の採用